

創立1周年に「感謝と期待」

地域シェア拡大 新入社員を激励

北北海道三菱

【旭川】北北海道三菱（村脇社長）は1日、旭川市内のホテルで「創立1周年記念式典・初賀会を開いた。従業員や、メーカー関係者など来賓合わせて80人以上が出席。村脇社長も事業責任者らが意気込みを示し、2周年に向けて新たなスタートを切った。

同社は昨年10月に北海道三菱が展開していた「旭川店」「空知店」「神居店」の事業譲渡を受けて、道内11社目の三菱ディーラーとして発足。定年を60歳から65歳に引き上げるなど待遇面から労働改革を実行し、生産性の向上に挑んできた。取り組みが功を奏



受賞者を激励する村脇社長

し、新車の登録台数が発足時に比べ大幅に増加するなど、高実績に結びついている。好調の波は新車販売にとどまらず、さまざまな事業で高い成果を残しており、勢いづく新興ディーラーだ。1周年の節目を迎えた10月に式典を開き、組織の結束を固めた。

村脇社長は、1周年を迎えられ従業員に感謝と期待の言葉を口にした。「社員は家族」との認識を示し「働きがいのある会社を作るのが私の仕事」と語った。自動車販売を取り巻く環境は電動化やカーシェアリングの台頭など大きく変化しており「新たなライバルが出てくる」とも指摘。「競争に勝ち抜き、地域の三菱シェアを伸ばしていきたい」と意欲を示した。

別府雅史営業本部長は「1

年前の発足式は複雑な気持ちだった」と当時の心境をこぼした。「今は来て良かったと感じている」と述べ、「みんなと元気で明るい会社を作っていきたい」と協力を呼びかけた。

式典では、会社発足後に同社に入社した社員が登壇し所信表明したほか、1日付入社の新入社員へ辞令の交付を行った。新規保険の上期目標達成者へ表彰式も実施。村脇社長が受賞者一人ひとりに「期



発足後に入社した社員一同

待している」となどと激励の言葉をかけた。会中は、笑いを誘うような発言が多数飛び出し、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれていた。締めめの挨拶をした今泉真一

郎取締役は、保有客の増加が企業の成長に重要な考えを伝え「(自社の)保有台数が減る状況から、増加する方向に転化してきた」と報告。「自由な発想を持ってお客様に信頼を得られるように接してほしい」と期待を込めた。